

# PS 通信

平成20年 春号

発行

かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議

春日井市環境部環境政策課内 0568-85-6216

<http://ps-kaigi.net>

## 四季のたより 身近なチョウが いつまでもと願って 会長 高橋 匡司

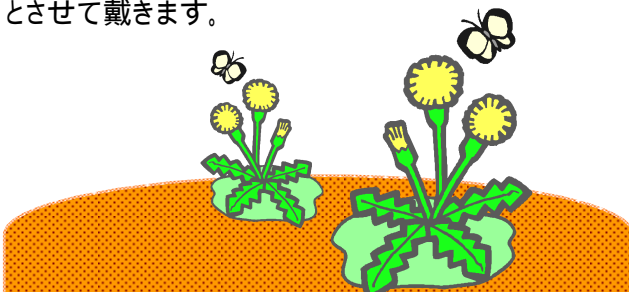
こんにちは。日頃は、環境まちづくり活動にご協力戴きまして有り難うございます。

モンシロチョウを、高蔵寺ニュータウン内で3月16日に確認しました。思うに例年並みと判断したいところですが、皆さんの周囲ではどんな状況でしたか？

知人によると、ヤマトシジミやクロアゲハが青森市でもすむようになったとのこと。春日井市内の黄葉も遅くなっています。地球温暖化の兆候が身近な生きものを通して感じられるようになったのではないのでしょうか。春日井市と青森市に同じ生きものがすめるようになった、言い換えると環境の差がなくなり始めたということでしょうか。信じがたい現象の始まりであり、そら恐ろしい気がします。

必死になってCO2の発生を抑えるためにも電源スイッチをこまめに切る、省エネタイプの蛍光灯に買い換える、公共交通機関を積極的に利用するなど一層心して実行していかななくてはならないと強く思う今日この頃です。

まだまだ、春日井の里山では、春の妖精・生きた化石のギフチョウをツツジやスマレの花に見ることができます。この情景がいつまでも続いて欲しいなと思いつつ、春号の発行に当たってのご挨拶とさせていただきます。



## 活動している プロジェクトグループの紹介

### みどりのまちづくりグループ

グループリーダー 高橋 勇夫

2022年までにみろくの森から、大谷川、内津川、庄内川の川沿いに道風の里まで緑の回廊をつくります。

現在の活動

- 1、みろくの森でどんぐり植樹祭と植栽地保全
- 2、みろくの森人工林森林浴セラピーの森づくり
- 3、大谷川源流植樹と花壇づくり、ホタルのビオトープづくり
- 4、大谷川河川敷の竹藪の間伐
- 5、大谷川クリーン作戦
- 6、大谷川水質検査
- 7、内津川桜堤下草刈
- 8、庄内川上条河畔林の保全
- 9、頓明公園の保全とアオダモ植樹祭
- 10、頓明どんぐり植樹
- 11、西尾町シデコブシ保全

その他、間伐材で、ベンチづくり、ハンキングバスケットづくり、しいたけの菌打ち、竹炭焼き、学習会



平成19年度 第8回「中部の未来創造大賞」優秀賞授賞

## 市民耕作学習会

グループリーダー 寺岡 靖介

本当の自然を求めての学習です。自然との付き合い方の実習です。古から培われた「理に叶った」自然の利用と活用の実践・伝承です。

活動のテーマ

。。。伝えよう 古よりの技術を。。。。

引き継ごう より良き環境を。。。。

われわれの手で 次世代へ。。。。

主な活動

無農薬栽培、ヤママユガの自然飼育

自然の利用と活用(炭焼きなど)、勉強会の開催



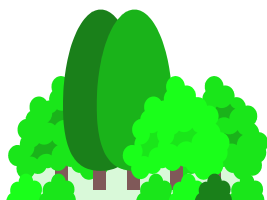
## 水環境・里山グループ

グループリーダー 板倉 賢一



田んぼやため池、林の管理方法が変わってきて、春日井に残されてきた生態系が失われつつあります。一度なくした自然環境は取り戻せないこと、これは都会での現状を見れば明らかです。

私たちの休耕田跡での環境保全活動は5年目をむかえ、春日井本来の生物を観察できる場として注目を集めています。柵や園路の補修・草刈管理等によって、不法投棄も減ったとの評価もいただきました。今後は、「めだかの里親グループ」リーダーの井上さんを中心に一層の充実をはかっていきます。



## 環境調査グループなずなの会

グループリーダー 梶田 美登里

春日井市消費者グループなずなの会として、1987年に設立致しました。

主な学習と活動テーマを「“くらし”と“いのち”と“地球環境”を考える」としました。

学習会、見学会、啓発活動、調査活動(生活展にて発表、生ごみの堆肥化講座)などを行っています。

その中の活動として

河川調査・・・市内12河川、17地点で年1回

大気汚染調査・・・35地点で年2回

酸性雨調査・・・市内4地点で、毎降雨時の雨量とpH

定例会

毎月第4水曜日10:00～12:00 レディヤンかすがい



## めだかの里親グループ

グループリーダー 井上 栄



めだかの里親グループとして約10年間春日井まつりやワイワイカーニバルでめだかの配布をしてきましたが、本年をもって終わりにしたいと思います。

長い間の御指導有りがとう御座いました。

今後もめだかの飼育は続けていきますので用の時は連絡して下さい。

今後は水環境・里山グループの御手伝いをさせて頂く事になりました。

## 環境学習ネットワークグループ

グループリーダー 二宮 久夫

市内小学校の要請に応じて、東海豪雨で崩壊した「みろく山再生のためのどんぐり植栽」と「山登り」や「自然観察会」、「野鳥観察」、「庄内川の水質・生き物調査」等の活動をしています。会員は26名で、他のボランティア団体や行政機関と連携をとりながら子供たちと一緒に楽しむ環境学習を行っています。個人、グループ、老若男女を問いません。どなたでも参加できます。ご連絡ください。

[E-mail his-ao@nifty.com](mailto:his-ao@nifty.com)



## みろくの森自然環境保全グループ

グループリーダー 富田 雅巳

かねてより県に要望していた築水池北岸散策路の危険箇所の補修工事が12月から行われ、木道や階段の補修及び土留め工事などが2月に終了した。

12月18日(火)愛知県有林事務所と合同で湿地の保全作業を行った。築水池北岸を中心とする湿地の多くは愛知県の所有地であり、われわれグループ(みろく山麓の自然を守る会)は県との協定を結び、湿地及びその周辺の自然環境の保全と調査を行っています。湿地には貴重な動植物が生息しており、人がむやみに立ち入ることで、それらに大きなダメージを与えてしまいますので、毎年一番影響の少ない12月から1月に草刈や間伐などの作業を行っています。後日、残された場所をそれぞれが継続して保全作業を実施した。3月4日(火)築水池北散策路内に単車が木歩道を塞いで置かれていた。どうやってこんな場所まで乗り入れできたのだろうか？警察と県有林事務所に通報し対処要請したが、散策路内の湿地(トキソウ・ハルリンドウ・ハッコウトンボなどの生息場所)にタイヤを踏み入れ、痛めつけられてなんとも迷惑なことである。



## きれいな空気を吸いたいグループ

グループリーダー 塚田 蒼生子

活動の柱は、環境出前講座と松葉針葉による大気汚染調査です。出前講座では「春日井の空気は汚れているのか?」「なぜ空気は汚れるのか?」などについて、紙芝居やポスターで春日井市の状況や地球温暖化を伝え、またクロマツ針葉の気孔の顕微鏡観察や二酸化窒素濃度の簡易測定、木端工作などを通して問題提起し、「どうしたら空気をできるだけ汚さないで暮らせるか?」を共に学び合っています。また、松の木の針葉が1年間にどれだけ汚れたかを測定し、大気汚染を調べています。



## 水辺YY(ワイワイ)ネット

グループリーダー 木下 まるみ

このグループは平成20年2月に出来たばかりです。「危険! よい子は川で遊ばない」という看板が立てられて、子どもたちは川で遊ぶことをしていません。そこで、庄内川の流域で「川遊び」「野鳥観察」「水質・生き物調査」などのいろいろな体験をしてほしいと思います。みんなでワイワイ・がやがやと自然観察をしながら川の役割や水の大切さを学んでいきます。会員はまだ5名なので、子どもと遊ぶのが大好きな方を募集しています。他のボランティア団体や行政機関と連携をとり、子どもたちと一緒に楽しみながら環境学習を行っていきます。



## 資源循環かすがい市民の会

グループリーダー 広川 雄三

このプロジェクトは発足してまだ日が浅く、緒についたばかりではありますが、ゆるやかに活動を進めたいと考えております。

化石資源や有限資源の浪費による枯渇懸念および自然循環可能なバイオマス資源の焼却処分に対する憂慮から、かすがい市民として、市民にできる以下の取り組みを進める。

現在燃やされている生ごみ、落葉・剪定枝等を有効に活用するため、腐葉土化、炭化、堆肥化、その他バイオマス資源の循環について学び、できることから実践する。

イベント等の機会を捉え、市民の暮らしに見合う情報の発信と意識改革に取り組む。

化石資源・有限資源・天然資源が有効に循環する都市の構築を目指し、資源循環を切望する市民として、官・民に必要な提言を行う。



### 会員募集中!!

私たちと一緒に環境まちづくりをしませんか?  
皆様のご参加をお待ちしております。

問合せ・申し込み

かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議

事務局：春日井市役所 環境政策課内

TEL: 0568 - 85 - 6216

FAX: 0568 - 84 - 8731

Eメール: kansei@city.kasugai.lg.jp

